

事業実績報告書

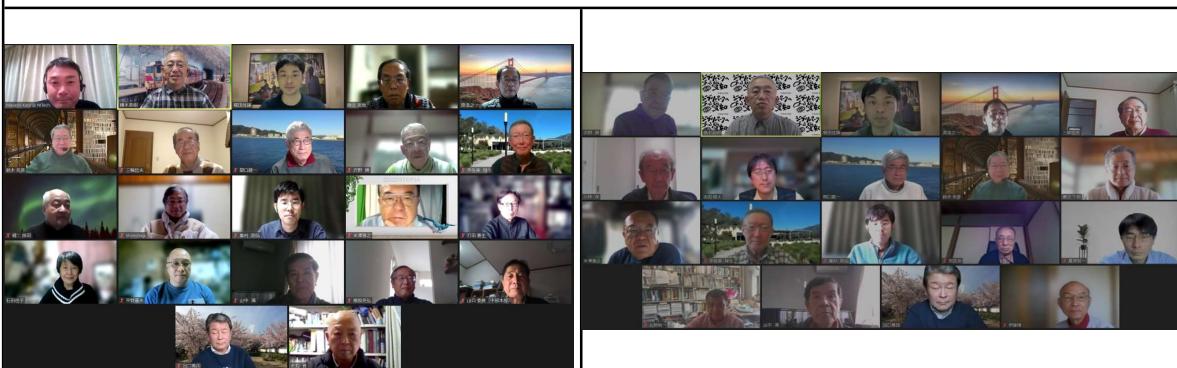
様式2
(2023年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-36	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日	2024/3/20	団体名・企業名	名古屋工業大学ごきそ技術士会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

名古屋工業大学ごきそ技術士会は「ごきそテクノカフェ」を、技術に関する最新の情報、技術がもたらす問題や便益について、最新の情報を紹介しながら市民と技術者が一緒に話し合う機会を持つため継続して開催してきました。2020年7月からはZoomを利用したオンライン開催に移行しました。2023年度後期は、引き続き「脱炭素」をテーマに、全5回を開催しました。2023年度後期も希望者にはごきそテクノカフェの内容をYouTubeからの講演や議論の内容をご覧頂けるようにしました。



※写真1の説明

ごきそテクノカフェ 2023年12月の記録写真 (Zoomによる開催)

※写真2の説明

ごきそテクノカフェ 2024年2月の記録写真 (Zoomによる開催)

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

2023年度後期の「ごきそテクノカフェ」も引き続き、Zoomを利用したオンライン開催とした。オンライン開催を継続してきたことが浸透したことから名古屋近郊以外からの参加者もあり、毎回18名以上の参加となった。一方で、JR鶴舞駅高架下商店街の喫茶サンデンでの対面開催の再開を検討したが、インターネット環境が喫茶サンデンに無いために断念し、オンラインのみの開催となつた。講師からは、脱炭素をだけをテーマにすることが難しいという意見が強く、企画・運営には大変な苦労が生じた。脱炭素意外にSDGsなど、より幅広いテーマで開催できれば、より広い分野の人材に講師をお願いできたと考えている。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

いろいろな視点からの脱炭素についてのお話なためとても参考になりました。
人工光合成の内容、社会での実用的課題等、詳しく解説いただき興味深かったです。
水素の貯蔵・運搬等については理解しやすかったです。水素製造コストやリスクについてもう少し知りたかった。
国や自治体としての進め方も含め、議論の中で知ることができたことが良かった。
水素燃料、電車とバスの情報がわかりやすく、質疑応答も含めて課題についてもよく考えることができた。